

令和6年度「どっぶり高知旅キャンペーン」の主な取組

誘致・広報事業

1 全国メディア等を活用した広報

■ 上半期:アンテナショップオープンと連動した情報発信

- パブリシティ
 - 3月に発表した受賞コンテンツを現地取材し、全国的なメディア等での発信を促す(6月～)
- テレビ・新聞・雑誌
 - 岡山県・香川県・関西エリアのテレビ番組(6月～9月)
 - 四国・岡山・兵庫エリア読売新聞広告(5月～11月)
 - 全国誌「Discover Japan」、関西情報誌「SAVVY」(7・8月) ※ 各媒体のWEB記事でも展開
- 交通広告
 - 大阪メトロ御堂筋線の車両のつり革広告(2両・6月～R7.3月)
 - ANAやJALの機内誌での発信(8月)
- 企業や連続テレビ小説ゆかりの地との連携
 - 大阪市長居植物園や東京都練馬区アニプロへのPRブース出展(5月)
 - 阪神百貨店高知フェアやJR大阪駅イベントへのPRブース出展(6月)



■ 下半期:「あんぱん」の動きと連動した首都圏・全国に向けた情報発信

- パブリシティ
 - 首都圏メディア向けに情報交換会を実施(9月、R7.1月)
- テレビ・新聞・雑誌
 - どっぶり高知旅キャンペーンや「あんぱん」を題材に各媒体とタイアップ
- 交通広告
 - 鉄道会社や航空会社等とのタイアップを実施
- 企業や連続テレビ小説ゆかりの地との連携
 - 首都圏の大手書店や牧野博士・やなせたかし先生ゆかりの地と連携した誘客イベント等の実施
 - 「らんまん」、「あんぱん」ゆかりの地と連携した観光PRの実施

2 公式ガイドブックや、特設サイト、SNSを活用した広報

- 公式ガイドブック等
 - 公式ガイドブックVol.1、リーフレット(3月)、Vol.2、3(9月、R7.3月)
- 特設サイト・SNS等
 - 特設サイトでの投稿記事(月1回程度)や、SNSでの動画や画像投稿(週1回以上)



3 アンテナショップ等と連携した広報

- どっぶり高知旅フェスティバル@KITTE(仮称)(9月)
 - 開業のお披露目と、どっぶり高知旅を訴求するイベントを開催
- どっぶり高知旅イベント(10月～R7.1月 計4回)
 - ショップ隣接の共有スペースで、どっぶり高知旅を訴求するイベントを開催
- アンテナショップと連携したOTAプレゼント企画(10月～11月)
 - ショップでの購入者を対象に県内宿泊施設で使えるOTAクーポンをプレゼント



※「赤行者デッキ側」から見たイメージ図
(設計段階のイメージのため、今後変更の可能性あります)

4 話題づくり

- 観光客向けのコンテストの実施(6月～R7.3月)
 - 観光客等を対象に、高知のあるあるエピソードを募集。選定したエピソードをもとにかたを製作し、周遊企画等に活用
- 県民向けコンテストの開催(7月～12月)
 - 県民が県内外に誇る(自慢・おすすめ)観光素材を募集し、公式HP特設サイトで紹介



5 「あんぱん」に連動した広報

- 広報物の作成(ポスター、のぼり旗、ゆかりの地マップ、リーフレットなど)
- 県外のゆかりの地と連携した誘客イベント等の実施(再掲)

受入事業

1 夜間イベント等の開催

- 高知城での夜間イベントの開催(12月～R7.1月)
 - 「日本三大夜城 高知城」を舞台に、地域の伝統芸能の魅力を生かした、閑散期の集客イベントを開催



2 周遊企画の実施

- どっぶり観光商品周遊スタンプラリー(7月～R7.2月)
 - コンテスト入賞コンテンツなど、どっぶり体験につながる観光商品の周遊企画の実施
- 口福の土佐御朱”飲”めぐり(7月～R7.3月)
 - 清流に恵まれた本郷の水や農産物を生かした飲料を巡るデジタルラリーの実施
- 土佐井+ご当地グルメ周遊パンフレット(9月)
 - 地元食材を生かした土佐井+ご当地グルメ情報なども盛り込んだ冊子を製作するとともに、土佐の豊稔祭 中央公園会場で土佐井グランプリの実施
- 人気ゲームキャラクターなどを活用した施策の実施(R7.3月)



- やなせたかし先生のキャラクター等を巡るスタンプラリー(R7.1月～3月)
 - やなせたかし先生のキャラクターやアニメ・映画等の関連スポットを巡る周遊企画の実施

3 市町村等の周遊促進・滞在延長の取組の支援

- 地域住民、観光事業者、市町村等の連携による周遊の仕組みづくり
 - 集落活動センターや観光施設など拠点施設を中心としたガイドツアーや食の提供などの取組を支援(10市町村、11事業申込予定)



4 ガイド機能・体制の強化

- 館内ガイド配置等支援
 - 室戸ジオパークセンター、青山文庫、宿毛歴史館など県内10施設にガイドを設置、地域での周遊促進を図る
- ガイド等養成事業
 - 観光関連事業者や県民を対象に研修会・体験会を実施し、裾野の拡大やスキルの向上を図る